

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2022年4月18日

2型糖尿病患者の新型コロナ死亡リスク関連因子：人口代表集団における 検討

【松崎雑感】

糖尿病があると、新型コロナ死亡リスクが3割程度増えるようですが、糖尿病であっても、治療薬によっては、死亡リスクが結構減るようです。糖尿病でよく使われるメトホルミンは、他剤に比べて、死亡率を半減、ルセフィなどのSGLT2阻害薬では70%低下、ビクトーザなどのGLP-1阻害薬では30%減など。これらの薬剤は、糖尿病改善だけでなく、血管の炎症を減らす効果があるために、新型コロナに感染しても、重症化しないと考えられています。抗炎症効果のある薬剤おそるべしです。

2型糖尿病患者の新型コロナ死亡リスク関連因子：人口代表集団における検討

Heald AH, Jenkins DA, Williams R, et al. Mortality in People with Type 2 Diabetes Following SARS-CoV-2 Infection: A Population Level Analysis of Potential Risk Factors [published online ahead of print, 2022 Apr 13]. *Diabetes Ther.* 2022;1-15. doi:10.1007/s13300-022-01259-3

マンチェスター市域（280万人）の新型コロナに感染した2型糖尿病患者1万3807名と、非糖尿病患者3万9583名の比較。

2型糖尿病患者の死亡リスクは非糖尿病患者の1.28倍。しかし、糖尿病治療薬別の解析で、メトホルミン（オッズ比0.494）、SGLT2阻害薬（0.299）、GLP-1（0.68）で死亡リスクが有意に低下。

喫煙者では、死亡リスクが有意に増加（オッズ比1.46）。

メカニズムの考察：これらの糖尿病薬が血管内皮機能の改善による抗炎症サイトカイン増加をもたらしている可能性あり。喫煙は血管内皮機能低下と炎症増加をもたらす。喫煙が新型コロナ死亡リスクを有意に増やしているのはむべなるかな。